

活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和5年10月7日（土）9時00分～11時00分	天気	晴れ 22.5℃, 40%	
参加者	浅川、安達、伊藤、小俣、開沼、川口、北村、黒岩、白川、田中、中尾、西原、野口、平野、深澤、本田、松浦、三浦、村松			計19名
活動内容	森づくりと保全活動			
使用道具	手鎌、熊手			
機器操作者	刈払い機			チェーンソー
	浅川、安達、開沼、川口、黒岩、白川、中尾、西原、平野、本田、三浦			—
区域	B地区「どんぐりの里」			
作業内容	①下草刈り			



手鎌での作業こそが、戦力になっている



同左



木の根元にスズメバチの巣があり、集団で飛び始めた



イヌシデ広場で、燃えやすい枯葉の上にあった吸い殻

次回の予定：定例活動9:00～

10月14日（土）イヌシデ広場集合

10月25日（水）イヌシデ広場集合

イベント：

10月14日（土）企業CSR活動支援

10月22日（日）オータムフェア

☆ボランティア募集・経験不問☆

第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

●次週のCSR活動支援地となるB地区「どんぐりの里」が下草で足の踏み場もない状況だったので、植樹したどんぐりの苗木まで近付くことができるように、苗木近くまで下草刈りをした。参加者が集まる広場も作った。

●下草刈りの作業中にスズメバチの巣と出くわしてしまい、巣を攻撃されると認識したスズメバチが10匹以上も乱舞する事態に陥り、落ち着かせるまで作業を中断するハプニングがあった。別の場所では実際にグローブの上から手の甲を刺されてしまった会員も出てしまい、危険性を痛感した。

●イヌシデ広場ではベンチの足元にタバコの吸い殻が捨てられていた。残り火が枯葉に引火し、風に舞い、燃え広がる危険性を想像してほしい。以上